

〔庭訓往來〕犬星行騰房鞞牛胸懸等雖非上品任注文無相違之様可被申下也

〔拾遺和歌集物名七〕かの皮のむかばき

かの。か。は。の。む。か。ば。き。す。ぎ。て。ふ。か。か。ら。は。わ。た。ら。で。た。ゞ。に。か。へ。る。ば。か。り。ぞ

〔今昔物語二十八〕東人通花山院御門語第卅七

今昔東ノ人否不知ズシテ花山院ノ御門ヲ馬ニ乗乍ラ渡ニケリ院ハ寢殿ノ南面ノ御簾ノ

内ニテ御覽シケルニ年卅餘許ノ男ノ中紺ノ水旱ニ白キ帷ヲ著テ夏毛ノ行騰ノ星付キ白ク

色赤キヲ履タリ

〔吾妻鏡十三〕建久三年六月十三日癸丑幕下源渡御新造御堂之地中凡云犯土云營作江間殿

北條以下手自沙汰之爰納土於夏毛行騰有運之者被尋其名之處景時申云囚人皆河權六太郎

也云云感其功忽蒙厚免是木曾典厩專一者也典厩被誅之後爲囚人被召預梶原云云

〔義經記一〕まやなわう殿くらま出の事

吉次いまだ夜ふかに京を出てあはだ口に出来る中あひくひきかきしるしたるすりづく

しのひたれに秋毛のむかばきはいてくるくりげなる馬につのふくりんのくらをきてぞの

りたりける兒若をのせ奉らんとてつきげなる馬にいかけ地のくらをおきて大またらのむ

かばきくらおほひにしてぞ出きたる

〔貴丈雜記五〕熊の皮の行騰は彈正の官の人ならでは不用之中射手具足秘傳に委し

〔今昔物語十九〕西京仕鷹者見夢出家語第八

今昔西京ニ鷹ヲ仕ヲ以テ役トセル者有ケリ名ヲバ口ト云ケリ中曉方ニ成ル程ニ寢入タ

リケル夢ニ中高キ所ニ登テ見バ錦ノ帽子シタル者ノ斑ナル狩衣ヲ著テ熊ノ行騰ヲ著テ斑

ナル猪ノ尻鞞シタル大刀ヲ帶テ下